【一般 A】国語

問題の構成ならびに各問題の出題意図は以下の通りである。

第 1 問：

「道徳的に考えるとはどういうことか」大谷 弘 著 からの出題です。ソクラテスの裁判におけるソクラテスとクリトンの対話を通して道徳的思考とはどのようなものかを考える文章です。文章の内容を理解するためには、正確で丁寧な読書力と持続的な集中力が必要となります。この文章の読解を通して、受験生の論理的・抽象的思考能力、語彙力等を問うています。

第 2 問：

「まいまいつぶろ」村木 嵐 著 からの出題です。徳川吉宗が幕閣の前で次の将軍を家重にすると告げる場面です。小説の読み取りで大事なことは登場人物の関係を正確に把握することですが、主な登場人物のうち 5 名についてはその関係が注に記してあります。注は読解に必要となる重要なデーターであり、このデーターを活用しないと自信を持った解答を得ることができません。なんとなくではなく根拠に基づいた読解ができているかどうかを問う問題となっています。